

平成30・令和元年度  
鹿児島県租税教育研究委嘱校

# 租税教育の実際



令和元年11月22日（金）

薩摩川内市立水引中学校

# 目 次

## ○ はじめに

- 1 薩摩川内市および校区の概要 . . . . . 1
- 2 学校の概要 . . . . . 1

## I 研究の概要

- 1 研究主題 . . . . . 2
- 2 研究主題設定の理由 . . . . . 2
- 3 研究の視点 . . . . . 2
- 4 研究の組織 . . . . . 2
- 5 租税教育全体計画 . . . . . 3

## II 研究の実際

- 1 租税教室 . . . . . 4
- 2 社会科における取組 . . . . . 8
- 3 小学校との交流における取組 . . . . . 9
- 4 授業以外での取組 . . . . . 11
- 5 長期休業中の課題における取組 . . . . . 12
- 6 アンケートの実施 . . . . . 15

## III 研究のまとめ

- 1 研究の成果 . . . . . 18
- 2 今後の課題 . . . . . 18

- おわりに . . . . . 18



## ○ はじめに

### 1 薩摩川内市および校区の概要

薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甕島、中甕島、下甕島で構成される甕島区域で構成されている。

東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甕島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有している。

水引中学校区は、学校の統合により非常に広い面積を有している。北は阿久根市、西は東シナ海、南はいちき串木野市に接し、海浜、水田、畑地、山間部が入り交じっており、国道3号線や校区の中心を流れる川内川の河口近くには、火力発電所、原子力発電所、川内川河口大橋、甕島をフェリーで結ぶ川内港などがあり、人やものの交流も盛んな地域である。

### 2 学校の概要

本校は、生徒数51名（5学級、特別支援学級2学級を含む）、職員数17名の小規模校である。

平成24年から26年の間に5つの小学校と2つの中学校の統合により、現在は水引小学校との1小1中の校区となっている。学校の統合により、北は阿久根市境から南はいちき串木野市境まで続く非常に長い海岸線を有する面積が大変広い校区である。水引小とともに平成26年度から薩摩川内市で最初のコミュニティスクールの指定を受け、校区5地区から選出された委員でなる学校運営協議会を持ち、保護者・地域と連携した教育活動を推進している。

水引小と1小1中という校区の特性を生かし、小中一貫教育の推進にも力を入れており、ふるさとコミュニケーション科に関連した学習や日常的な交流活動が頻繁に行われている。集団宿泊学習や運動会、総合文化祭など小中合同での行事も多く児童・生徒の交流が盛んである。小・中合同の行事に向けた職員会議、同じテーマに基づいた職員研修や共同授業（職員の授業を通じた交流）等、教職員の交流も非常に活発である。

本校では、「誠実・錬磨・創造」の校訓のもと「自他と向き合い人間力を高める」を学校教育目標に、教師と生徒がともに日々の活動に取り組んでいる。

生徒会活動では、「朝のあいさつ運動活動」や「二分前着席一分前黙想」「ボランティア活動」などに力を入れて取り組んでいる。ボランティア活動で行うプルタブ回収やペットボトルキャップ回収では、校区の積極的な協力を得ることができ、毎年市の社会福祉協議会を通して地域の医療機関等に車イスを寄贈している。部活動では、4つの部活動があり、少ない人数ながらも活発な活動をしている。

# I 研究の概要

## 1 研究主題

「租税教育を通して、身近な社会生活に関心を持ち、租税についての正しい知識を養い、社会に貢献できる生徒の育成」

## 2 研究主題設定の理由

租税教育を進める上で国税庁では「次代を担う児童・生徒が民主主義の根幹である租税の意義や役割を正しく理解し社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、さらには納税者として社会や国のあり方を主体的に考えるという自覚を育てること」を目的としている。

本校では、これまでも中学3年生において年1回の「租税教室」の実施や税に関する作文の取り組みなどを中心に取り組んできた。社会科では、3年生の公民的分野において租税の意義や役割などを中心に授業を行ってきた。平成28年度にはこれまでの租税教育への取り組みに対して川内税務署から感謝状もいただいている。

しかし、アンケート調査の分析から、本校生徒の税に対する関心は全体的には低く、税について正しく理解している生徒も少ないことがわかった。

そこで、本校では租税教育を進めるに当たり、将来の納税者として税について関心を深め、税への意義や役割を正しく認識させること、また、国や地方公共団体の行政活動に対する理解を深め、将来の良識ある納税者となるために、公共物や身の回りのものを大切にする態度を養うことをめざして租税教育を推進していきたい。

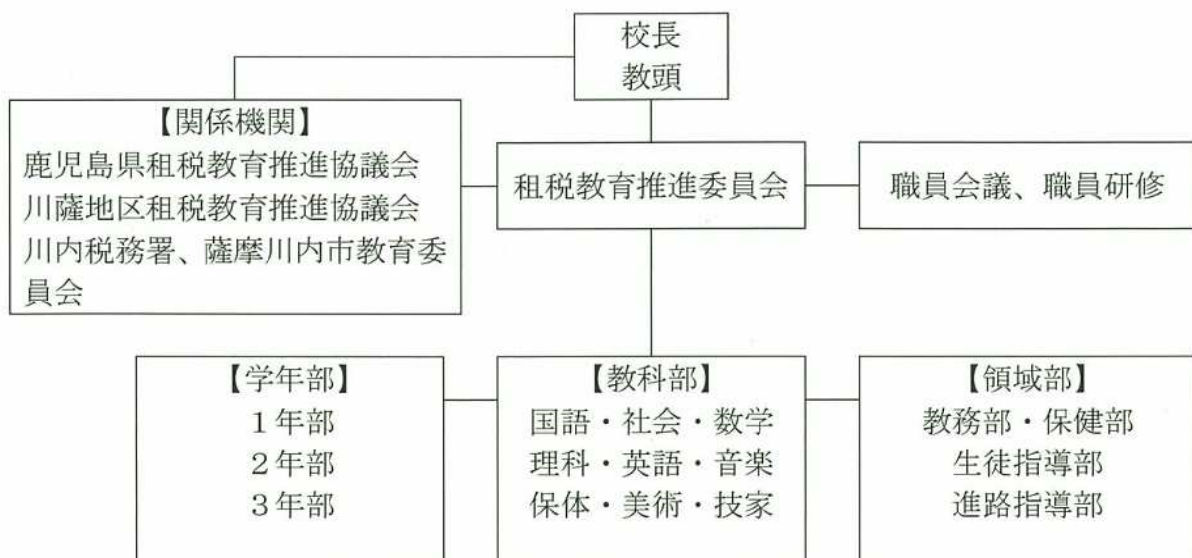
そのために税務署や市役所税務課などと協力し税に関する授業や作品制作に取り組ませながら、国民福祉を実現する上で租税が果たす大きな役割について理解を深めさせるとともに、税の負担者として税金の使い道に関心を持たせられるようにしていきたい。

以上のことから、租税教育を進めることが本校の教育目標である「自他と向き合い人間力を高める」ことにもつながると考え、この主題を設定した。

## 3 研究の視点

- (1) 租税に関する高めさせる工夫
- (2) 租税の意義や役割を正しく認識し、理解させる活動の工夫
- (3) 様々な税について調べたりまとめて発表したりする活動の設定
- (4) 社会の一員として主体的に社会に貢献しようとする態度を育成できるような取り組みの充実

## 4 研究の組織





## 5 研究の経過

### (1) 1年目（平成30年度）

月	内 容
4	・租税教育研究推進校委嘱の確認
6	・租税教育研究推進校委嘱状の交付
7	・税に関するアンケートの実施（全校生徒対象） ・租税教室の実施（3年生対象） 講師：村岡 正敏税理士（村岡税理士事務所） ・長期休業中の「税に関する課題」の提示・生徒の取組
8	・他校の取組についての研究 ・長期休業中の「税に関する課題」の提示・生徒の取組（作文） ・税に関するアンケートの分析 ・2学期の実践内容について検討
9	・1年生社会科（歴史的分野）における実践
11	・総合文化祭における租税教育出展 ・県租税教育研究会出席
12	・租税教室の実施（全校生徒対象） ・3年生社会科（公民的分野）における実施 ・3学期の実践内容について検討 ・小学校での乗り入れ授業の実施
1 ～ 3	・税に関するアンケートの実施（全校生徒）、分析 ・平成30年度の研究のまとめ及び平成31年度の研究計画案の作成

### (2) 2年目（令和元年度）

月	内 容
4	・平成31年度の研究計画の確認
5	・税に関するアンケートの実施
7	・租税教室の実施 ・長期休業中の「税に関する課題」の提示・生徒の取組
8	・長期休業中の「税に関する課題」生徒の取り組み （作文、レポート、標語、書道、ポスター：全校生徒対象、選択） ・税に関するアンケートの分析 ・2学期の実践内容について検討
9	・税に関するアンケートの実施（全校生徒対象）、分析 ・平成30年度からの研究のまとめ
10	・研究実践の資料編集、作成、製本 ・文化祭にて長期休業中の「税に関する課題」展示
11	・県租税教育研究会出席、研究実践発表
12	・租税教室の実施（全校生徒対象） ・3年生社会科（公民的分野）における実施 ・3学期の実践内容について検討 ・小学校での乗り入れ授業の実施
3	・二年間のまとめ

## II 研究の実際

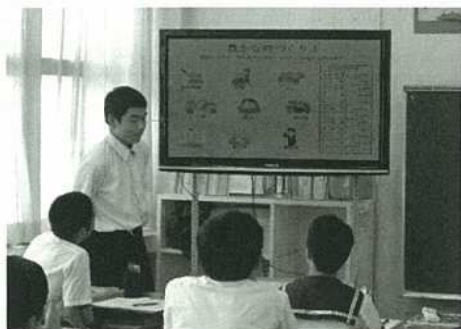
### 1 租税教室

2年間の研究委嘱期間に、計4回の租税教室を実施した。4回目については今年度の11月に実施を予定している。

#### (1) 税理士による租税教室（第1回：平成30年7月13日実施）

〈内 容〉

- ① DVD視聴
- ② 税の使われ方について
- ③ 税の種類について
- ④ 納税方法など



#### ◇ 生徒の感想

- 日本ではいろいろな問題を抱えていたり、人それぞれの立場で考えは違ったりすることが分かりました。豊かに健康に文化的に安心して暮らすためにより良くしていていることは分かりましたが、その分、人も国も負担しているんだと思いました。政治の面でも自分たちのしたことは自分たちに返ってくるんだと思いました。
- 税金を集めるのにも使うのにもキーワードに「公平」というのがありました。ただでたためにやっているのではなく、みんなが負担してみんなのためにみんなが幸せになれるようになっているというのを聞いて良かったです。もっと税について調べていきたいです。
- 私は今回の租税教室を通してまず税金がどれだけ必要なのかということが分かりました。税金があるからこそ今の日本は平和で教育が優れているのだと思いました。必要な税金の額に予算が足りていないというのはこれからも大きな問題であると思いました。
- 私は税金のことについてあまり知りませんでしたが、この授業で税金は国民から公平に集められ、公平に使われていることが分かりました。税金は私たちが生きていくうえで必ず必要なもので大切に扱っていかないといけないんだなと思いました。そして少子高齢化など人口の課題も絡んでくることが分かりました。
- 今回の授業で改めて税のことについてしっかり学びました。これから私達が大人になっても税は必要になってくるのでこれからしっかりと生かしていけるようにしたいです。



(2) 鹿児島財務事務所による租税教室（第2回：平成30年11月16日実施）

（内 容）  
 「財務大臣になって予算を作ろう」  
 ① グループで予算案のテーマを決める  
 ② 歳出と歳入の予算を話し合う  
 ③ グループで発表する

九州財務局鹿児島財務事務所による「財務大臣になって予算を作ろう」という題材での授業を2時間単位で行った。内容としては、日本の財政について大まかな説明を受けて、生徒達はグループに分かれてそれぞれが財務大臣として日本の予算を決め、それを全体で発表するというものだった。4～5人の少人数のグループに分かれて、タブレットを用いて大変熱心にグループワークに取り組んでいた。



- 1班 住みやすい社会にするためには
- 2班 高齢者や子供達を大切にする世の中
- 3班 借金の総額を減らすために
- 4班 高齢者が暮らしやすい環境にする
- 5班 未来が住みやすくなる世の中
- 6班 借金を減らし社会をよりよくするためには

具体的に日本の歳出や歳入を見ることで、現代の日本の社会について考えることができるようになった。どこかを増やせばどこかが減るわけで非常に頭を悩ませながらも、楽しい雰囲気、大変盛り上がりながら、グループワークに取り組んでいた。

生徒の授業評価

財政問題について関心が高まった。	A 6人	B 13人	C 2人
財政問題に関する知識が身についた。	A 11人	B 8人	C 2人
財政問題について自らの考えを深めることができた。	A 10人	B 10人	C 1人

◇生徒の感想

○日本をよくしていくために、予算について今後どうすれば良いと思うか。という設問に対して

- ・ 予算を決めるときに借金のことも考えていかなければならないと思いました。平成になってから借金をする量がすごく増えて借金を返すのも難しいようになったので、予算を決めるときは借金も考えて行わないといけないと思いました。
- ・ 少々国民からの不満が出る可能性もあると思いますが、あらゆる税を少しでも高くして、とにかく借金を返済していくべきだと思います。
- ・ 今回の授業であったように何かテーマを決めてやっていった方が良いのではないかと思います。全部を一気に解決するよりも、先に優先すべき、国民に最も関係のある問題なら増税を考え、高齢者も子供も大切だけれどもどちらかを選択しなければいけないのではないかと思います。
- ・ 日本は多額の借金をし続けていく傾向があることが分かったので歳出を減らし、歳入を増やして借金をなくしていかなければならないと思った。しかし公共の場やサービスなどを私たちは豊かにしていきたいという考えのため借金返済と生活を豊かにすることのバランスを取るの難しいことだと思った。



1. 予算案のテーマを決めよう。（どんな世の中にしたいか）

高齢者や子どもたちを大切にする世の中

2. グループで理想の予算を考えよう。グループで話し合った内容（増減した理由など）をシートに書き込みながら進めてください。

歳出予算		歳入予算	
①-1 社会保障（年金） □増額（5）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 高齢者が安心して暮らせる。	② 地方への交付金 □増額（5）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： その地域の高齢者や子どもたちを大切にするため。	③ 所得税 □増額（ ）% □現状維持 □減額（5）% 理由： 大人のため。	
①-2 社会保障（医療） □増額（ ）% □現状維持 □減額（5）% 理由： 全員の医療費を下げる。	③ 公共事業 □増額（ ）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 高齢者などが事故に合えたら大変だから。	④ 酒税 □増額（10）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 所得税のかわり分。	
①-3 社会保障（介護） □増額（5）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 高齢者を大切にするためには介護が必要だから。	④ 防衛 □増額（ ）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 今の日本は平和でいてほしいから。	⑤ 法人税 □増額（5）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： かっかくした会社からたくさんとりたい。あついでいい会社は少しかけてあげる。	
①-4 社会保障（子ども・子育て） □増額（5）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 親も安心できれい。子どもを自由にできるから。	⑤ 教育 □増額（5）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 子どもや親のため。	⑥ その他の税金（ガソリン・酒・たばこなど） □増額（10）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： タバコやたばこの値上げのあるものを主に増額する。	
①-5 社会保障（生活保護など） □増額（ ）% □現状維持 □減額（5）% 理由： 近代化によって、ケガや病気になる可能性が下がるから。	⑥ その他 □増額（ ）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： いろいろ大切だから。		
社会保障 合計 ※タブレットに表示されている結果をもとめて下さい。 □増額（ ）% □現状維持 □減額（ ）%			

1. 予算案のテーマを決めよう。（どんな世の中にしたいか）

借金の総額を減らすために。

2. グループで理想の予算を考えよう。グループで話し合った内容（増減した理由など）をシートに書き込みながら進めてください。

歳出予算		歳入予算	
①-1 社会保障（年金） □増額（ ）% □現状維持 □減額（10）% 理由： もともとが少ないうから。金利は20%減額	② 地方への交付金 □増額（ ）% □現状維持 □減額（10）% 理由： 本当に必要のところを使う。	③ 所得税 □増額（ ）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 若い人の給料は少ないうから。	
①-2 社会保障（医療） □増額（ ）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 必要	③ 公共事業 □増額（ ）% □現状維持 □減額（10）% 理由： 老朽化した建物を直さないといいないうから。必要箇所だけ。	④ 酒税 □増額（5）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 増せばいいから。酒の増額はいいから。	
①-3 社会保障（介護） □増額（ ）% □現状維持 □減額（5）% 理由： サービスはいいから、お金の5%と私えたいから。	④ 防衛 □増額（ ）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 国を守ることは大切！	⑤ 法人税 □増額（10）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 利益を出しているから。	
①-4 社会保障（子ども・子育て） □増額（ ）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 子どもを増やしてほしいから。	⑤ 教育 □増額（ ）% □現状維持 □減額（5）% 理由： 大学を減らす。他は維持	⑥ その他の税金（ガソリン・酒・たばこなど） □増額（30）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 酒やたばこを減らしたら健康にいい！	
①-5 社会保障（生活保護など） □増額（ ）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 生活で困る人が減るから	⑥ その他 □増額（ ）% □現状維持 □減額（ ）% 理由： 日本が先ずいから。世界に貢献したいから。持たないから。		
社会保障 合計 ※タブレットに表示されている結果をもとめて下さい。 □増額（ ）% □現状維持 □減額（ ）%			



(3) 薩摩川内市役所税務課職員による租税教室（第3回：令和元年7月16日実施）

※ 1年生と2・3年生に分けて1時間ずつ実施

〈内 容〉

- ① 税金の基礎知識について  
(1年生は詳しく、2・3年生は簡潔に復習)
- ② 税金クイズ
- ③ DVD視聴
- ④ 薩摩川内で使われている税金について



◇生徒の感想

1年生

- ・ 国民のためとはいえ国がした借金をなぜ我々若い人たちが肩代わりしないといけないのかそれとなぜあれだけ大きな税金でも足りないのかよく分からない。でも、税金は基本的に自分たち国民のためのものだということが分かった
- ・ 私はあまり税について考えることがなかったけれど、今回の授業を聞いて多くのことを考えることができました。今回はたくさんの税の仕組みや種類どのような税があるかと言うことを詳しく知ることができました。税についてもっと詳しく知りたかったです。

2年生

- ・ DVDを見て税金がなくなるととても大変なことになってしまうんだと思いました。資料に載っている少子高齢化のところに働き手と高齢者の比率で2000年には3.6人、働き手が足りていたのに、2050年には、1.3人しか働き手がいなくなっていてびっくりしました。
- ・ 今回の租税教室で税金の必要性が分かりました。税金がない世の中になったとき義務教育が義務教育じゃなくなり、学校も学費が払えずに、行けなくなって、税金がないだけでこんなに不便になるんだなと思いました。自分も税金をしっかりと払いたいです。
- ・ 今回の租税教室で知らなかったことも知ることができました。私は消費税くらいしか知らなかったのが税がおおよそ50種類もあることを初めて知りました。現在は少子高齢化が進んでいて、税金がないと高齢者が年金をもらえずに働かないと行けない環境になってしまうことも知りました。私達のこれからは税金がないと年をとってから生きていくのが難しくなっていきます。税金の大切さがよく分かりました。

3年生

- ・ 私は税についてあまり良いイメージがなかった。ニュースで脱税や税金泥棒などとよく聞くからだ。今回の授業で私達は税金に助けられていることに気づいた。また中学校もいろいろな場面で税金が使われていることに気づいた。これからはいろいろなものが税金から作られていると思い、ものを大切にしていきたい。
- ・ 私達の身の回りの様々なところで税が使われておりその税が私達の生活を支えてくれているんだなと思いました。今私達が住みよい暮らしができていのも税金のおかげであると知ったので自分が大人になったときにはしっかりと税金を払いたいです。



## 2 社会科における取組

社会科では、3年生公民、1年生歴史「奈良時代の人々と暮らし」2年生歴史「明治維新の三大改革」という3つの単元で租税について意識させ、興味を持たせることに目標をおき授業を行った。

### 3年生社会科（公民的分野）における実践

ア 単元名 「国民の生活と政府の役割」

イ 指導計画（6時間・各1時間）

第1時 政府の経済活動と租税（税の種類と仕組み）…<本時>

第2時 政府の経済活動と租税（私たちの生活と税の役割）

第3時 財政の働き 第4時 社会保障と国民の福祉

第5時 公害の防止と環境保全 第6時 日本経済の課題

ウ 本時の目標

- ・ 税金の公平な負担について考えることができる。
- ・ 税の役割、納税の義務を果たすことの大切さを理解する。

エ 本時の実際

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点
導入	1 5問テスト	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の復習を行う</li> <li>・ 租税教室の様子を写真を見ながら振り返り復習をする。</li> </ul>
	2 本時の学習課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国のお金はどのように集められ、どのように使われているのでしょうか。</div>		
展開	3 政府の財政について予想する。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どのくらいのお金が国に使われているのかを予想させる。</li> </ul>
	4 政府の歳入、歳出について「私たちの税」をもとに確認をする。	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「わたしたちの税」をもとに、政府の歳入や歳出について確認する。</li> <li>・ 歳出について特に何に使われるのかを確認する。</li> </ul>
	5 政府の歳入について税金で足りていないところをどのようにしているのかを確認する。	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公債金についてデータを見せながら、政府の財政の問題点について考えさせる</li> </ul>
	6 税金の種類や仕組みについて知る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直接税、間接税、国税、地方税などの種類に分ける。</li> </ul>
開	7 税金の公平性について	8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費税の流れについて図解する。来年度から消費税が上がることを伝え、何に使われるのかを考えさせる</li> </ul>
	8 将来の税金について		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化が進むことを知り、後の生活のために国や市の財政について考えさせる。</li> </ul>
終末	9 本時のまとめと次時の予告	2分	

オ 本時の評価

- ・ 税金の公平な負担について考えることができたか。
- ・ 税の役割、納税の義務を果たすことの大切さを理解できたか。



### 3 小学校との交流における取組

薩摩川内市では特に小中一貫教育に力を入れて取り組んでいる。水引中学校でも水引小学校とともに行う行事も多く、小学校の先生方と顔を合わせる機会も大変多い。お互いの授業参観を行った一緒に授業を考え、行う授業も多い。そこで昨年度は6年生を対象に乗り入れ授業として租税教育のために1時間授業をさせていただいた。

#### (1) 指導案

- 1 単元名 私たちの生活と政治  
 小単元名 税について知ろう（租税教室）

#### 2 本時

##### (1) 目標

- ・ 税の必要性について考えることができる。
- ・ 税の使われ方について関心を持つことができる。

##### (2) 本時の展開

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点
導入	1 自己紹介 2 本時の学習課題の確認  税金はどのように使われているのでしょうか。	5分	・ 租税教室の様子を写真を見ながら振り返り復習をする。
展    開	3 何に税金が使われているか。使われていないのか。クイズ形式で行う。	5分	・ 税金によって作られたか そうでないかをクイズ形式でグループで取り組ませる ○コンビニ○学校○病院○スポーツショップ○陸上競技場など
	4 児童の1日の生活の中で税金がどのように使われているかを考える。	5分	・ 朝起きて学校に来るまでの道のりで考えてワークシートに記入する。
	5 学校で使われている予算のことについて聞いてみる。	5分	・ 体育館の建設費、窓、チョーク、テレビ、など学校備品と小学生一人あたりに使う教育費を考える
	6 国の予算や鹿児島県の予算や薩摩川内市の予算を予想する。	5分	
	7 消費税の仕組みを知る。	5分	・ 消費税の流れについて図解する。
	8 将来の税金について	10分	・ 少子高齢化が進むことを知り、後の生活のために国や市の財政について考えさせる。
終末	9 本時のまとめと次時の予告	5分	

##### (3) 本時の評価

- ・ 税の必要性について感じる事ができたか。
- ・ 税の使われ方について関心を持つ事ができたか。

ワークシート

( 番 名前 )

めあて

【 \_\_\_\_\_ 】

税金で作られたものはどれかな ○をつけましょう

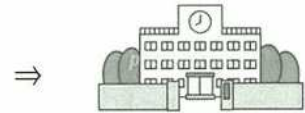
【 学校 ローソン クリーンセンター ヒマラヤ 図書館 家  
市民病院 中越パルプ おれんじ鉄道 警察署 消防署 アリーナ  
市民プール メルヘンのプール 】

共通点は何かな？

朝起きて学校に来るまでに税金が使われているものは何があるかな？



⇒



⇒

学校ではどんなものが税金で使われているかな？

予想

実際

国で1年間に使うお金 ( ) 円 ⇒ ( ) 円

鹿児島県で使うお金 ( ) 円 ⇒ ( ) 円

薩摩川内市で使うお金 ( ) 円 ⇒ ( ) 円

みんなが払っている税金 ( ) ⇒ 2019年から ( ) %  
⇒ ( ) 円

みんな

コンビニ

税務署

日本銀行

国会

税金をどんな風にするのかを決めるのは国会の仕事！

国会で働く人は国会議員！

それを選ぶのは そう 私たち(君たち)だ！ だから ( ) が大切よ！

そして ( ) に関心を持つ小学生 ⇒ 中学生になってね！



#### 4 授業以外の取組

##### (1) 税の学習コーナーの設置

生徒の通る校舎の階段の踊り場に税の学習コーナーを設置した。前年度までの税の作文の優秀作品や夏休みの税のレポート、税の標語などを掲示した。



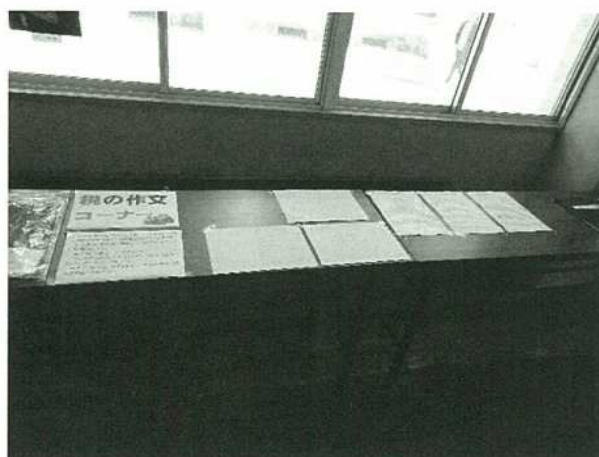
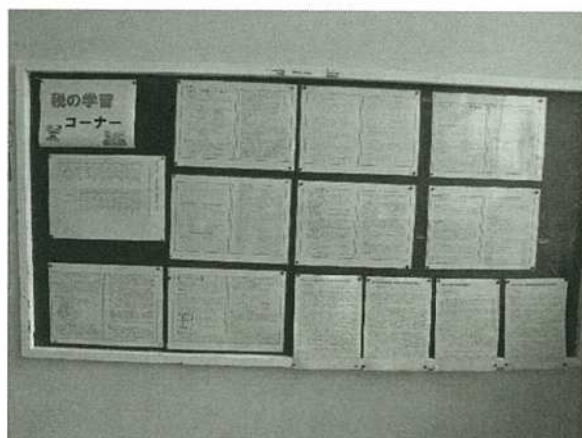
##### (2) 「税の標語」コンテスト

7月の租税教室の後に、1、2年生は「税の標語」を取り組ませた。1人1～3作品それぞれで取り組んだ。その後、「税の標語コンクール」を実施した。全校生徒と先生方で気に入った標語を3つまで選んでもらった。選ばれた作品については、文化祭で掲示し、その後学校の廊下に掲示をする。

六位 税金で 14p みんなで築こう 明るい社会	五位 税金は 16p 未来を作る 架け橋だ	四位 税金が 19p 無ければこの町 成り立たぬ	三位 何のため 20p 気づかれにくい ありがたみ	二位 消費税 23p 固定資産税 所得税	一位 税金は 26p 未来のため 大きな貯金
--------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------	------------------------------

##### (3) 文化祭における展示品「税」コーナーの設置

小中地域合同の文化祭において税のコーナーを設置し、保護者および地域の方々にも作品を見ていただく機会を設けた。



## 5 長期休業中の課題における取組

夏休みの課題における取組として、3年生には「税の作文コンクール」への出展、1、2年生は税のレポートの作成を提出させた。

また書道「税の作品」も2学期最初の授業で国語科に協力を依頼し、制作し応募している。

作品は、11月2日に実施された小中地域総合文化祭にて、租税教育作品掲示のコーナーを設置し、掲示した。

### (1) 作文（「税の作文コンクール」への応募）

例年3年生を対象に「税の作文コンクール」に応募出品している。平成30年度からは夏休みに租税教室を実施し、授業を踏まえた形で作文に取り組ませている。

### ◇平成30年度川薩地区租税教育推進協議会会長賞 受賞作品

#### 税について

3年 松下 遼

私たちが、健康で豊かな生活を送るために国や都道府県、市町村は、さまざまな活動や事業を行っています。それらに必要な費用をまかなっているのが税金です。例えば、学校に安全に通うための道路や信号、学校などの教育施設の建設や、机、椅子、教科書、大会などが行われている陸上競技場などの施設、安心な夜、日々の安全を守る警察や消防は税金がなくては成り立ちません。税金は、本当に私たちの生活には、欠かせないのです。

憲法でも、国民の義務として「教育の義務」「勤労の義務」「納税の義務」の3つを定めています。私たちは、税金を納めることによって、国が成り立っています。

私たちが近い将来、選挙に参加することになりますが、その時は、国民として納税の義務を果たすとともに、納めた税がより良く使われるよう、納税者として、税について関心を持つことが大切です。

国の財政の内訳を見ると、国の借金である「公債金収入」は34.5%と高い割合を占めています。公債金となる「国債」は、元本の返済や利子の支払いなどの負担を、将来の世代に残します。国債に依存する我が国の財政を改善することが、大きな課題となっています。国の予算の使い方は、国会で決められます。私たちがより豊かで安心して生活できるような方面に、多くの費用があてられています。例えば、医療費の負担や老人福祉などに使われる社会保障関係費等です。

現在日本は、高齢化社会のため、どうしても社会保障関係費の負担が増えています。これを改善するためには、病気にならない健康な体作りが求められています。だから、私は、そのために、地域で健康な体作りのために積極的な運動を広めていきたいと思います。例えば、高齢の方々でも、参加できるグランドゴルフやラジオ体操などを今住んでいる私の地域に取り入れ、楽しい運動を行っていききたいと思います。

そうすることで、社会保障関係費や医療費の負担が減り、将来への課題も少なくなってきます。また、最近、各地で発生している災害などの災害復旧費にもっと税をあてることができれば、日本のみんながもっと豊かに幸せに暮らせるのではないかと考えます。

このように、将来のことも考えながら、今、安心して生活できている日々感謝しながら過ごしていきたいです。



世の中を変えるには

3年 荒武美優

税金とは、租税として納める金銭である。つまり、国や地方公共団体が、公共財や公共サービスの経費として、法令の定めに基づいて国民や住民に負担を求める金銭である。今の私は、「税金」と聞けば、「どんなところで使われているのか」など分かっているが、小学校6年生の時は全然理解していなかった。その時の私は、「税金なんて買い物時に払うもの」と思っており、「いらない」と思っていた。

6年生のある日、租税教室が開かれた。「めんどくさい」と思う反面、「どんなことに使われているのかわかる」と思うところもあり、少しだけ興味がわいていた。「もし税金がなかったら・・・」というDVDを見た。税金が道路や学校、消防士にも使われていると知りすごく驚いた。「この世の中に税金があって良かった」とその時初めて思った。これからは大切にしていきたいと思った。

しかし、最近は税金のありがたさや大切にしたいという気持ちがどんどん薄れてきていた。その頃、また租税教室が開かれた。小学生の時とはDVDの内容も話の内容も違い、知らなかったことを知る良い機会になった。特に一番心に残ったのは、少子・高齢化についてだ。2000年には、3.6人で高齢者1人を支えていたが、2050年には1.3人約1人で支えていかなければいけない。税金から、介護・福祉の給付金や年金が出ている。だが、高齢化の進展に伴い、「社会保障給付金」と「社会保険料収入」との差が広がっている。この差は、税金だけではなく多額の借金によってまかなわれている。このまま放置をすれば、社会保障制度を維持するのが困難になる。差を縮めれば良いと思ったが、差を縮めるには給付金を少なくするか、保険料を上げるしかない。でも、実際に試そうにも人々が反対するのが目に見えている。おじいさん、おばあさんが長生きするごとに国の借金が増えていくなんで残酷な話だ。

このように、世の中を変えるには税金のことを知っている大人達が次の世代に伝えなければ何も始まらない。自分が伝えた子供達が世の中を変えてくれるかも知れない。私は、これからはまずは自分のものにかかわらず税金で作られたものを大切にしていきたいと思う。税金を無駄遣いするのではなく、1人1人が気をつけるとそれがどんどん広がっていき、「税金って無駄じゃないね」と思わせることができると思う。1人の心がけ次第で、世の中は変えることができると思う。だから、私しはこれからも税を大切にしていきたい。これからも私は税のことについて勉強していきたい。

私達はこれから自分たちで未来を切り開いていく。何十年、何百年後も税金があり、きれいな道路、建物があり、笑顔が絶えないそんな世の中に私はしていきたい。

(2) 書道（「税に関する作品」への応募）

国語科の協力をもらい、2学期の最初の授業で全学年で「税に関する作品」の書道で作成させた。

毎年、薩摩川内市内の商業施設で市内の学校の作品の掲示を行っている。





### (3) レポート

7月の租税教室を受けて、今年度の1、2年生は税についてレポート作成を行った。どうしても難しい生徒は国調べ、都道府県調べの選択制にしたが、ほとんどの生徒が税調べを行っていた。

#### 他人事じゃない相続税

～意味～

★相続とは、ある人が亡くなったときに、その人の配偶者や子どもなどが、残された財産を引き継ぐことです。

★財産とは、現金のほか、家や土地、株式など、お金の換算できるすべてのもの（おみやげやおにがわりの権利や義務）です。

プラスの財産(相続税の対象)	マイナスの財産
預貯金、現金	借金
有価証券	未払金
不動産(住んでいる家、土地)	預り金
車・留置品	

相続財産とされるもの

- 生命保険金
- 個人年金など定期金に関する権利
- 死亡退職金

非課税財産

- 墓地・墓石、仏壇・仏具
- 神棚・神具などの費用
- 生命保険金などの一定部分
- 死亡退職金などの一定部分

このとき、亡くなった人を被相続人、財産を引き継ぐ人を相続人といいます。(法定相続特定の公益法人などにこの財産の移転に対して税金が寄附した財産がわかります。これが相続税です。)

相続人は引き継いだ財産から税額を計算し、納めます。

～相続税の対象者が2倍になった～

女子成り年の相続税大改正で基礎控除が下がったことなどにより、相続税の対象者(被相続人、相続人)が大きくなりました。

	平成26年	平成27年
相続税の課税対象となった被相続人	5万6239人	10万3043人
相続人	1677人	3596人
相続税を納めた被相続人の数	15万930人	23万3596人

被相続人、相続人とも大きく増えています。一人あたりのお金も増えています。

被相続人1人あたりの納付税額

2575万円 → 1758万円

～相続税の基礎控除～

★相続税は、相続財産をすべての人にかけるとはなりません。一定の非課税枠が設けてあり、この金額以下なら相続税がかからず申告の必要もありません。この非課税枠を基礎控除といいます。

<調べた理由>・税金の授業で税金自体のことは良く分かったので種類の中の一つを調べてみました。

<感想>・最初は何ともしようがないから調べていたが、深く調べているうちにおもしろいと思う。いろいろな事を知れて楽しかったからまた調べたいと思う。

#### 身近な税の使い道

- 理由: 学校の授業や中学生の税にはあまり関係ないから調べてみる。
- 勉強の機に、おぼえていたらいなと思ふので調べてみる。
- お金の使い方について紹介してほしい。

#### 消費税

私たちが普段感じる税金だと思います。私たちがお店で買い物したり、服の毛を切ってもらったり、お金のやり取りのたびに消費税という形で税金を払っています。

卸売業者	↑	1 ( 消費税400円 )
小売業者		
消費者	↑	納める税金の半額は 7500円 (内消費税56円)

#### 所得税・住民税

会社 給料を 人や助ける商業、利益を得た人 納める税金 所得 ( ) 課税 口トヤツバハトと どのくらい所得税

#### 税

課税 両 果進課税、公平に税金を公平に課税して、所得税、即住民税、住んで都道府県や市町村に納めず、最近では納税と制度も入っています。

都道府県	市町村	国
前年所得	前年所得	前年所得

#### 自動車税 自動車税

毎年1月1日時点で自動車に所有している人が支払う税金。普通乗用車に自動車税、軽自動車に軽自動車税、軽自動車税は市町村に納めず。

- 1 27,500円
- 2 15,750円以下 34,500円
- 3 34,500円以下 49,500円
- 4 49,500円以下 64,500円
- 5 64,500円以下 79,500円
- 6 79,500円以下 94,500円
- 7 94,500円以下 109,500円
- 8 109,500円以下 124,500円
- 9 124,500円以下 139,500円
- 10 139,500円以下 154,500円
- 11 154,500円以下 169,500円
- 12 169,500円以下 184,500円
- 13 184,500円以下 199,500円
- 14 199,500円以下 214,500円
- 15 214,500円以下 229,500円
- 16 229,500円以下 244,500円
- 17 244,500円以下 259,500円
- 18 259,500円以下 274,500円
- 19 274,500円以下 289,500円
- 20 289,500円以下 304,500円
- 21 304,500円以下 319,500円
- 22 319,500円以下 334,500円
- 23 334,500円以下 349,500円
- 24 349,500円以下 364,500円
- 25 364,500円以下 379,500円
- 26 379,500円以下 394,500円
- 27 394,500円以下 409,500円
- 28 409,500円以下 424,500円
- 29 424,500円以下 439,500円
- 30 439,500円以下 454,500円
- 31 454,500円以下 469,500円
- 32 469,500円以下 484,500円
- 33 484,500円以下 499,500円
- 34 499,500円以下 514,500円
- 35 514,500円以下 529,500円
- 36 529,500円以下 544,500円
- 37 544,500円以下 559,500円
- 38 559,500円以下 574,500円
- 39 574,500円以下 589,500円
- 40 589,500円以下 604,500円
- 41 604,500円以下 619,500円
- 42 619,500円以下 634,500円
- 43 634,500円以下 649,500円
- 44 649,500円以下 664,500円
- 45 664,500円以下 679,500円
- 46 679,500円以下 694,500円
- 47 694,500円以下 709,500円
- 48 709,500円以下 724,500円
- 49 724,500円以下 739,500円
- 50 739,500円以下 754,500円
- 51 754,500円以下 769,500円
- 52 769,500円以下 784,500円
- 53 784,500円以下 799,500円
- 54 799,500円以下 814,500円
- 55 814,500円以下 829,500円
- 56 829,500円以下 844,500円
- 57 844,500円以下 859,500円
- 58 859,500円以下 874,500円
- 59 874,500円以下 889,500円
- 60 889,500円以下 904,500円
- 61 904,500円以下 919,500円
- 62 919,500円以下 934,500円
- 63 934,500円以下 949,500円
- 64 949,500円以下 964,500円
- 65 964,500円以下 979,500円
- 66 979,500円以下 994,500円
- 67 994,500円以下 1,009,500円
- 68 1,009,500円以下 1,024,500円
- 69 1,024,500円以下 1,039,500円
- 70 1,039,500円以下 1,054,500円
- 71 1,054,500円以下 1,069,500円
- 72 1,069,500円以下 1,084,500円
- 73 1,084,500円以下 1,099,500円
- 74 1,099,500円以下 1,114,500円
- 75 1,114,500円以下 1,129,500円
- 76 1,129,500円以下 1,144,500円
- 77 1,144,500円以下 1,159,500円
- 78 1,159,500円以下 1,174,500円
- 79 1,174,500円以下 1,189,500円
- 80 1,189,500円以下 1,204,500円
- 81 1,204,500円以下 1,219,500円
- 82 1,219,500円以下 1,234,500円
- 83 1,234,500円以下 1,249,500円
- 84 1,249,500円以下 1,264,500円
- 85 1,264,500円以下 1,279,500円
- 86 1,279,500円以下 1,294,500円
- 87 1,294,500円以下 1,309,500円
- 88 1,309,500円以下 1,324,500円
- 89 1,324,500円以下 1,339,500円
- 90 1,339,500円以下 1,354,500円
- 91 1,354,500円以下 1,369,500円
- 92 1,369,500円以下 1,384,500円
- 93 1,384,500円以下 1,399,500円
- 94 1,399,500円以下 1,414,500円
- 95 1,414,500円以下 1,429,500円
- 96 1,429,500円以下 1,444,500円
- 97 1,444,500円以下 1,459,500円
- 98 1,459,500円以下 1,474,500円
- 99 1,474,500円以下 1,489,500円
- 100 1,489,500円以下 1,504,500円



## 6 アンケートの実施

以下のアンケートを実施し、生徒の実態や変容を把握した。

### 「税」に関するアンケート

(1) 税について関心はありますか。

- 1 ある                      2 少しある                      3 あまりない                      4 まったくない

(2) あなたは、家庭で、税について話すことがありますか。

- 1 よくある                      2 すこしある                      3 あまりない                      4 まったくない

(3) 税についてのイメージはどうですか

- 1 良い                      2 まあ良い                      3 あまり良くない                      4 良くない

(4) それはどうしてですか。

(5) 税は必要だと思いますか。

- 1 必要                      2 少し必要                      3 あまり必要ではない                      4 全く必要ではない

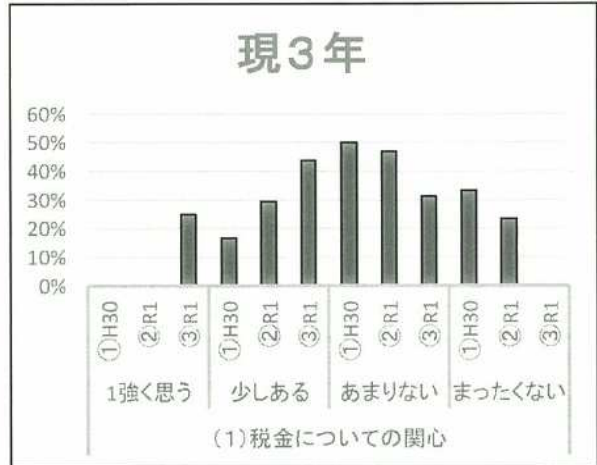
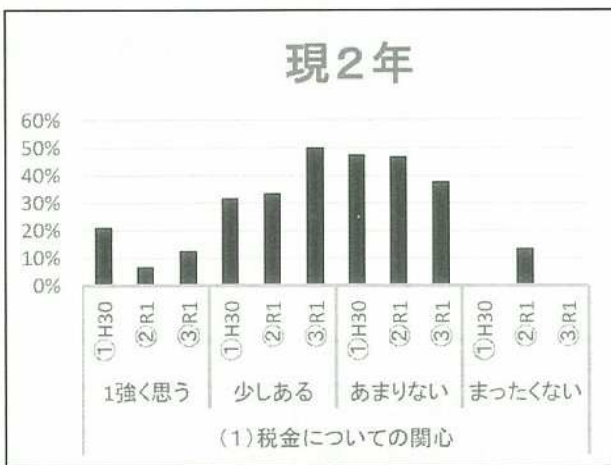
(6) どんな種類の税金を知っていますか

(7) 税金は何に使われていると思いますか。知っていることを書きなさい。

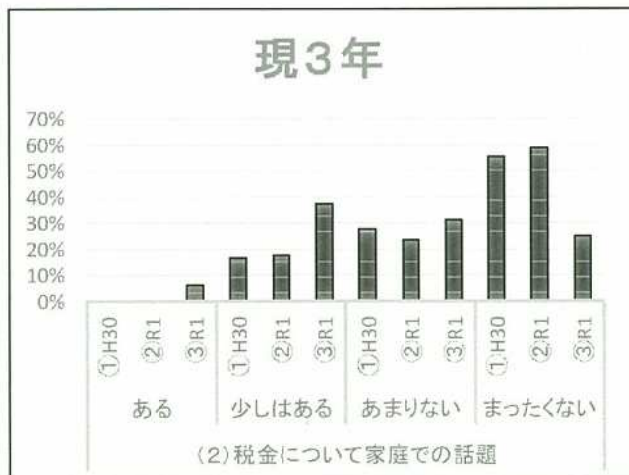
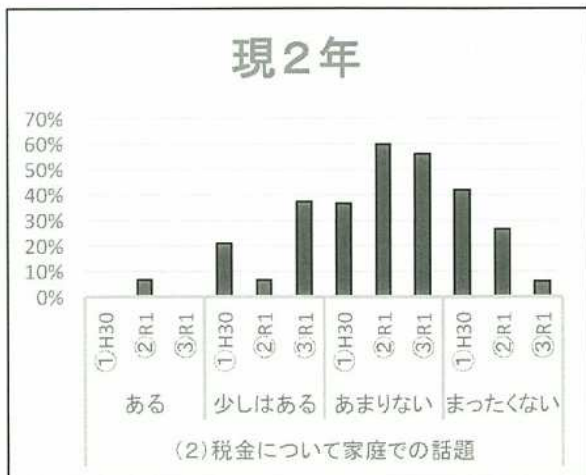
(8) 中学校生活や中学校の中でどのような場面で税金が使われていると思いますか。

**「税」に関するアンケート結果**  
 平成30年度(①6月調査)と令和元年(②6月・③10月調査)の比較  
 同学年の生徒の変容【同学年内の割合の変化】

内容	(1)税金についての関心											
	1強く思う			少しある			あまりない			まったくない		
選択	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1
現2年												
人	4	1	2	6	5	8	9	7	6	0	2	0
%	21%	7%	13%	32%	33%	50%	47%	47%	38%	0%	13%	0%
現3年												
人	0	0	4	3	5	7	9	8	5	6	4	0
%	0%	0%	25%	17%	29%	44%	50%	47%	31%	33%	24%	0%

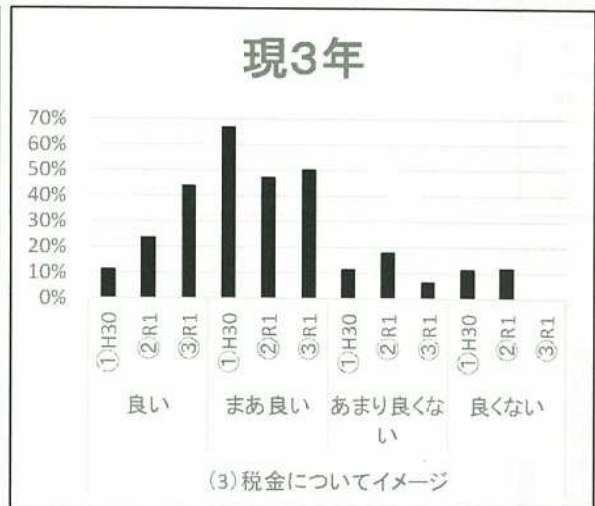
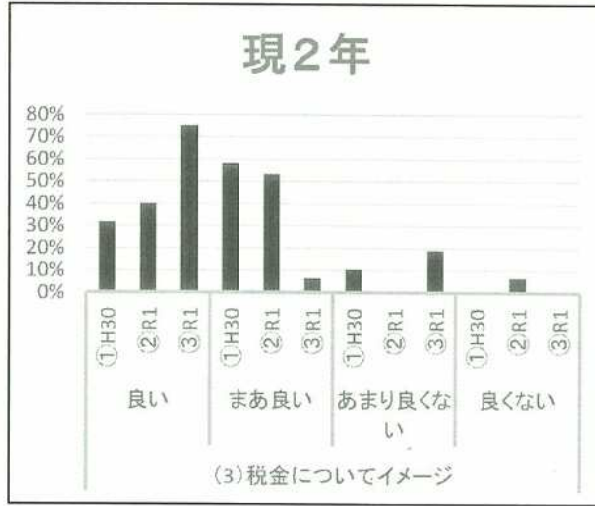


内容	(2)税金について家庭での話題											
	ある			少しはある			あまりない			まったくない		
選択	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1
現2年												
人	0	1	0	4	1	6	7	9	9	8	4	1
%	0%	7%	0%	21%	7%	38%	37%	60%	56%	42%	27%	6%
現3年												
人	0	0	1	3	3	6	5	4	5	10	10	4
%	0%	0%	6%	17%	18%	38%	28%	24%	31%	56%	59%	25%

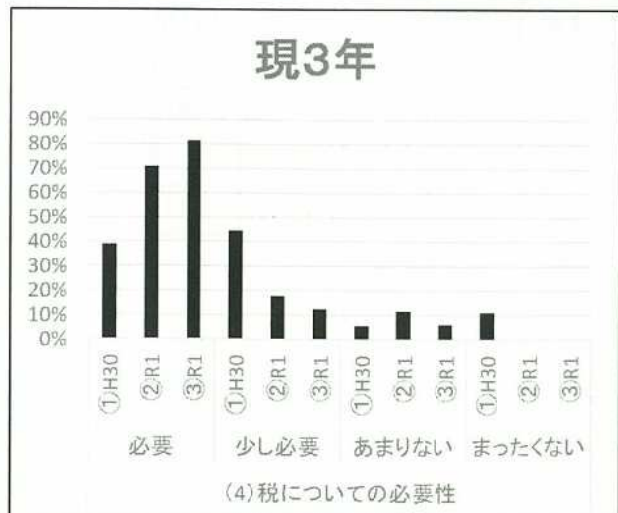
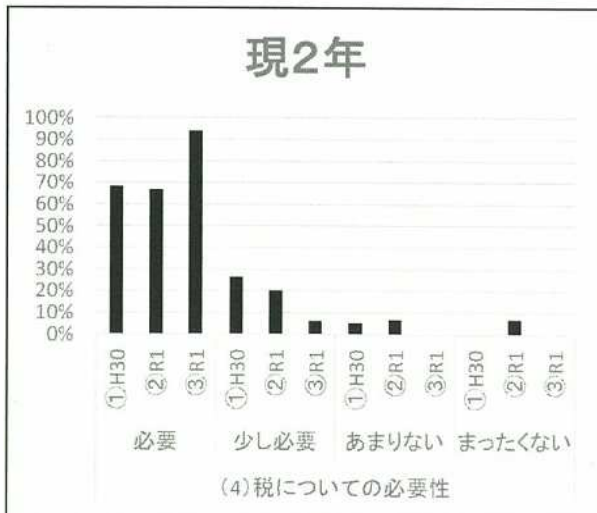




内容	(3)税金についてイメージ												
	良い			まあ良い			あまり良くない			良くない			
選択	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1	
現2年	人	6	6	12	11	8	1	2	0	3	0	1	0
	%	32%	40%	75%	58%	53%	6%	11%	0%	19%	0%	7%	0%
現3年	人	2	4	7	12	8	8	2	3	1	2	2	0
	%	11%	24%	44%	67%	47%	50%	11%	18%	6%	11%	12%	0%



内容	(4)税についての必要性												
	必要			少し必要			あまりない			まったくない			
選択	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1	①H30	②R1	③R1	
現2年	人	13	10	15	5	3	1	1	1	0	0	1	0
	%	68%	67%	94%	26%	20%	6%	5%	7%	0%	0%	7%	0%
現3年	人	7	12	13	8	3	2	1	2	1	2	0	0
	%	39%	71%	81%	44%	18%	13%	6%	12%	6%	11%	0%	0%



## 〈アンケート結果の考察〉

- (1) 当初は税についての関心が「全くない」または、「あまりない」という生徒の数が大変多かったが、2年間の取り組みで税について関心を持つ生徒の割合が大きく増えた。
- (2) 税について家庭で話題にすることも当初はほぼ0%だったが、「少しはある」という割合が増えた。おそらく消費税が10%に変わった時期と重なったことで家庭での話題が増えたように思う。
- (3) 税についてのイメージも「あまり良くない」「良くない」と考える生徒が減り、「良い」イメージ、「まあ良い」イメージと考える生徒が増えた。
- (4) 税についての必要性も、「あまりない」「全くない」とする生徒の数は当初からそれほど多くはなかったが、最後のアンケートではほとんど全員の生徒が「必要」と強く考えているようだった。

## Ⅲ 研究のまとめ

### 1 研究の成果

- (1) 租税教室や社会科の取組後の生徒の感想には、「もっと税について知りたい」「学びたい」「正しい知識を身に付けたい」という記述が多くみられた。身近な社会生活と税との関連を知ることで、税に対する学習が大切だという意識をもつ生徒が育成された。
- (2) 今年度は特に全学年で租税教室を実施した。3年生は例年通り税の作文への取り組み、1、2年生は税の標語作りや税のレポート作りを通して、税に向けて知識や関心が増えた。また、税の標語コンクールを全校で取り組み、文化祭で掲示するなどして、税への関心が高まることとなった。
- (3) 3年生の租税教育は鹿児島財務事務所の協力を得て、大変主体的に自分たちで考える授業ができた。今後の社会科の授業の参考にしていきたい。
- (4) 小学校との交流学习を踏まえて、小学校とも連携して租税の意義や必要性を、感じさせる授業を行うことができた。

### 2 今後の課題

- (1) 租税教育については、どうしても社会科が中心となる。今後は、学校全体の教育活動として、各教科の中でどのように取り組んでいくか考える必要がある。
- (2) 租税教育に関する、家庭や地域への啓発や連携がますます必要である。

### ○ おわりに

本校の生徒は、素直で明るい生徒が多い。地域行事への参加についても積極的に参加している。このような教育環境のもとで、「身近な社会生活に関心をもち、租税についての正しい知識を養い、社会に貢献できる生徒の育成」を目指し、実践に取り組んできた。

「租税教育」を通して、租税について関心を持ち、正しい知識を持つ生徒を増やすことができただけでなく身近な生活や郷土を見つめ直すきっかけを作ることができたように思う。成果と課題を再度見直し、今後の実践につなげていきたい。

最後に、本研究を支え、協力してくださった鹿児島県租税教育推進協議会をはじめ、川内税務署、薩摩川内市税務課、その他関係者の方々に心から厚くお礼を申し上げます。